

【樹木の部屋】

ジャカランダ（ノウゼンカズラ科キリモドキ属 Jacaranda）

和名：シウンボク（紫雲木） **別名**：キリモドキ（桐擬き） **英名**：Jacaranda

シソ目 落葉高木

原産地：中南米

花言葉：名誉、栄光

花の色：紫、青紫、白



← 写真-1 ジャカランダ

撮影日：2018年04月23日

撮影場所：クレタ島

（ギリシャ）にて

撮影者：M さん

↓ 写真-2 ジャカランダの小枝

撮影日：2018年04月23日

撮影場所：クレタ島

（ギリシャ）にて

撮影者：M さん



↑ 写真-3 ジャカランダの花

撮影日：2018年04月23日

撮影場所：クレタ島（ギリシャ）にて

撮影者：M さん

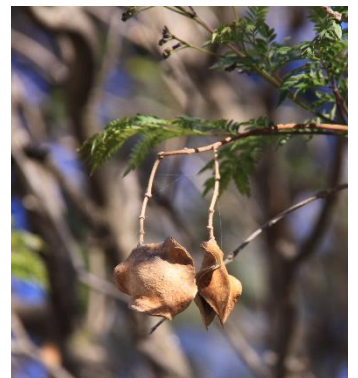


→ 写真-4 ジャカランダの果実

撮影日：2018年04月23日

撮影場所：クレタ島（ギリシャ）にて

撮影者：M さん



クノッソス宮殿遺跡の駐車場で見かけました。ジャカラランダです。小生、今まで写真以外で目にするのは始めて。南アフリカ連邦共和国では有名な花で、日本からもツアーが組まれているほどです。小生、日本では見られない花だと思っていました。が、「熱海には咲いている」と、同行のご婦人が教えてくれました。また、小生が所属している会の会員からも、「大阪市港区にも咲いているところがある」と・・・奈良市内で、幼木を植えられているご家庭を知っていますが、花が咲く保証はできないと、購入した園芸店で言われたとか・・・。それにしても、ジャカラランダは、日本でも見られるのです・・・。調べてみると、熱海市の他、雲仙市、日南市の三カ所が比較的知られているとのこと。他に前記した大阪市港区や大阪市天王寺区の一心寺でも見られるそうです。

南米に約 50 種類が分布する樹木で、日本で主に栽培されているのは、アルゼンチン原産のジャカラランダ・ミシモフォリア〔J. mimosifolia〕という種だそうで、現地では街路樹などに広く利用されているそうです。

葉は多くが 2 回羽状複葉で、見かけはアカシアやネムノキに似ています。が、1 回羽状複葉または単葉の種もあるそうです。

花は円錐花序につき、花冠は 5 裂し、色は青または青紫色、一部に変種の白い種類もあるそうです。雄蕊のほかに長い仮雄蕊を持ち、果実は偏平で卵形または長円形のさく果で、多数の種子を含んでいます。

原産地では桜のように葉が出る前に花が咲きますが、栽培環境によっては葉が出た後に花が咲くこともあるそうです。熱帯では乾期の終わりに落葉した状態で花を咲かせ、その後に新芽を出し、花の色は淡い藤色で神秘的に美しく、「世界三大花木」のひとつとされています。一つの花房に 50～90 個の花を付け、満開時は木を覆うほどに咲き乱れます。

十分な大きさに育った木でないと開花は難しく、日本では鉢植えの若木を観葉植物として扱うことが多いそうです。日本への本格的な初導入は琉球政府当時の沖縄で 1964 年に、天野鉄夫がボリビアの「オキナワ移住地」から種子を持ち帰り育てるのに成功し、満開になったときの情景が、紫雲が空にたなびいているように見えることから「紫雲木」と名付けたという記録があるそうです。

<ちょっと一言>

世界三大花木

ジャカラランダの美しい花は「紫の桜」とも呼ばれ、
アフリカンチューリップ（火焰木）、ポインシアナ（鳳凰木）